

こんにちは

西  学校です

見附市立西中学校  
学校だより

令和5年8月23日

第7号

## つながり輝く姿を目指して

校長 水戸 巖

暑い夏。将来のこと・進路のことについて対話し、自分の人生にプラスになる具体的なアクションを起こして、充実の夏休みを過ごしたことと思います。まだまだ残暑が続きそうですが、気持ちを切り替えて、2学期の活動に取り組んでほしいと思います。

今年度の明和会のテーマは「つながり」。スローガン『星座』～つながり輝く西中星～には、西中を1つの星座に見立て、全校生徒はその星座で輝く1つ1つの星をイメージし、全校生徒がつながることへの願いが込められています。そして、学年内の繋がりだけでなく、委員会・部活動など学年を超えたつながりも増えてほしい、という思いも込められています。

2学期は、そのつながりを一層育み、一人一人が輝く場面がたくさん用意されています。そこで始業式では、「つながり」をテーマに次のメッセージを送りました。

### ●コミュニケーションの力を高める～「読み取る」力を磨く

数々の著名なTV番組を生み出したり、映画『おくりびと』の脚本で賞をとったり、「くまモン」プロデュースの中心となったりで知られる小山薫堂さんは、次のように述べています。

最初に石文のことを知ったのは、向田邦子さんのエッセイでした。まだ文字がなかったころ、人は、自分の思いを伝えるのに石を使ったのだそうです。大きい石、小さい石、ごつごつとした石、つるつるした石、ぺったんこの石、丸い石…。

自分の気持ちに似た石を探して相手に送り、もらったほうは、その石を握りしめたときの感触で、相手の心を読み取る。僕たちの先祖は、ずいぶん手間暇かけたコミュニケーションをしていたのですね。

今は、携帯メールにハートの絵文字を使うだけで、簡単に「好き」という思いが届く時代です。噛まなくていい流動食のように、努力しなくても気持ちをダイレクトに伝えることができる。その分、噛む力、つまり相手の思いを「読み取る」とか「おしはかる」能力が退化してしまった気がします。

ときには、誰かと石文を交換してみるのもいいかもしれません・・・(中略)・・・相手の心を読み取る感性を磨くことが、コミュニケーションの力を高めることにつながると思います。

『つながる技術』(小山薫堂 著・PHP)より

つながりを深めるため、自分の思いを伝えること、相手の思いを読み取ることを心がけ、コミュニケーション力に磨きをかけてほしいです。

### ●幸せの種をまく

つながりを深めるための様々なヒントが小山さんの著書に述べられています。「相手に興味をもつ」「みんなのコンシェルジュになる」「小さないいことをかさねる」「おはようございますからはじめる」「共通項・共通体験を積み重ねる」などです。そして、その1つに「幸せの種をまく」があります。

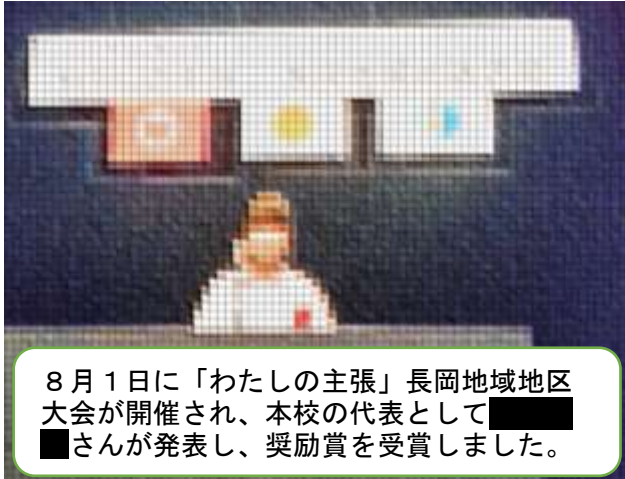
・・・僕は企画を考えると「人に喜んでもらうにはどうしたらいいか」とまず考える。僕がいい人だからではありません。みんなのハッピーが回りまわって、自分のパッピーにもつながるからです。人に喜んでもらうこと。それは、結局、自分の幸せの種まきだと思います。

『つながる技術』（小山薫堂 著・PHP）より

「人に喜んでもらうにはどうしたらいいか」を考え行動し、集団のつながりを深めてほしいと思います。

一人一人が輝き、かつ星座としての美しさを築いていく。そんな2学期にしましょう。

## 夏休み中の活動より



## 9月の主な予定



4日（月）～	部活動強調期間
9日（土）	体育祭
11日（月）	体育祭振替休業日
13日（水）	全校集会
15日（金）	生活習慣病検診
21日（木）	新人各種大会
26日（火）	3年生確認テスト
27日（水）	明和会集会



子どもたちの活動の様子をホームページ(西中ブログ)でお知らせしています。ぜひ、ご覧ください。

見附のイメージキャラクター  
ミッケ